

# 日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会 活動報告

## ダイバーシティ推進委員会とは

- 2011年に発足し、2年間の活動を行った男女共同参画委員会は、2013年にダイバーシティ推進委員会として新たなスタートを切りました。
- 第1期（2011・12年度）男女共同参画委員会は、男女共同参画学協会連絡会行事への出席や、（独）国立女性教育会館主催「女子中高生 夏の学校」への参加（ポスター展示・キャリア相談）などに積極的に取り組んできました。第62回大会（札幌）では「男女共同参画に関するアンケート」を実施し、第63回大会（盛岡）にてその結果を報告しました。
- ダイバーシティ推進委員会は男女共同参画委員会の活動を引き継ぎ、さらに**多様な立場の方々の多様な形での学会参加を促進**することを目的に活動しています。第1期（2013・14年度）は11名、第2期（2015・16年度）は10名の委員で構成されています。



ダイバーシティ = 多様性

組織の中に多様な人材がいる方が、より柔軟で発展性のある組織となると考えられています

## 優秀女子学生賞にぜひご応募ください！

優秀女子学生賞は「木材学とそれに関連する分野で、優れた研究業績を収めて将来を嘱望される本学会女子学生会員」に毎年原則として2件以内授与されます。受賞者には賞状のほか、以下のような副賞が贈られます。**ぜひ積極にご応募ください。**



第1回の副賞  
「Chienoki/チエノキ」



第2回の副賞  
「迪 michi」



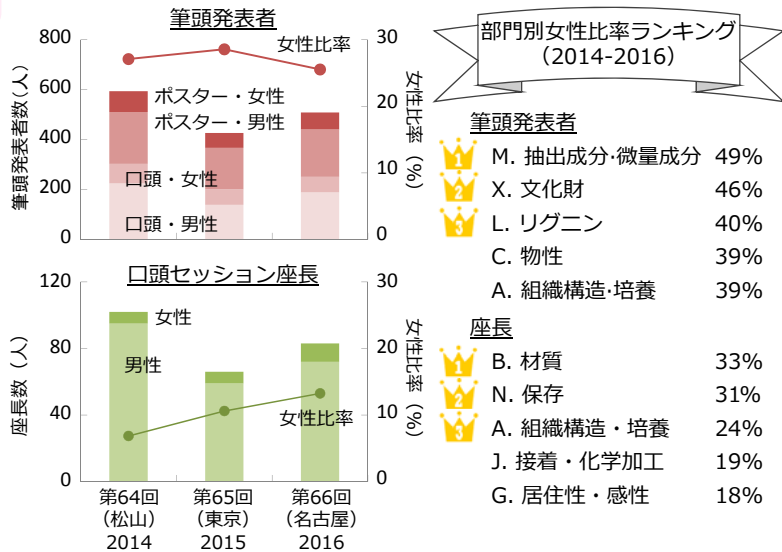
第3回の副賞  
「百年の時と生きた木と」  
提供：（一社）木と住まい研究協会  
梶本銘木店

これらの副賞は、昭和女子大学環境デザイン学科 桃園靖子教授の研究室に所属する【デザイナーの卵】の方々によりデザイン・製作されています。



## 年次大会における発表者・座長の女性比率

ダイバーシティ推進委員会では、本学会の年次大会における筆頭発表者および口頭セッション座長の女性比率を独自に調査しています。



## 学会内外での活動

### ランチョンミーティング



- 毎年の年次大会中に、委員会が主催するランチョンミーティングを開催しています。
- 本大会では大会初日の「企業ランチセミナー」を共催しました。

### 女子中高生夏の学校



- （独）国立女性教育会館主催「夏の学校」に毎年ポスター・キャリア相談ブースの出展を行っています。
- 木材ストラップの作成・配布を行い、参加者に木材学の楽しさをアピールしています。

### 学協会連絡会シンポジウム



- 男女共同参画学協会連絡会が主催するシンポジウム等に参加し、木材学会の活動をアピールしています。
- 特に優秀女子学生賞は、他学協会にない先駆的な取り組みとして注目を集めています。